

# 松前柔道塾始業式及び保護者会を開催しました

4月5日（木）に松前柔道塾始業式を開催。48名の塾生が参加しました。橋本敏明塾監から「新年度の目標は、1つ目は身体をしっかり鍛えて病気や怪我に負けないこと！2つ目は崩し・作り・掛けを意識して技を磨くこと！3つ目は元気に挨拶をすること！松前柔道塾のモットーは挨拶世界一です。今年度もまた、各国からたくさんのお友達が来塾します。いろいろな国の言葉を使って、大きな声で挨拶しましょう！」と挨拶がありました。

塾生誓いの言葉では、塾生を代表して堀内大幹君（小学6年生）が、「忍耐・練達・希望の精神で1年間頑張る」ことを誓いました。

始業式後に保護者会（望星学塾 1F ホール）を開催。33名の保護者に出席頂き、2018年度の指導方針・稽古時間・上半期の予定などを説明しました。



# 塾監講義を開催しました

4月12日（木）合同練習の時間帯で橋本敏明塾監による柔道講義を開催。「フェアプレー精神について」をテーマに話をしました。

橋本塾監は、松前柔道塾だより No. 83 の巻頭文を塾生に見せながら、平昌オリンピックで金メダルを獲得した小平奈緒選手とライバルである李相花選手（韓国）の関係を説明。オリンピック精神である、敬意・尊重（Respect）、卓越（Excellence）、友情（Friendship）の大切さを伝えました。また、目には見えない「こころ」と目に見える「かたち」について、座り方や礼法を実践。柔道の精力善用・自他共栄の精神や本塾のモットーである「柔道・友情・平和」について話しました。



# 第22回チャレンジ教室を開催しました

第22回チャレンジ教室は、4月23日（月）、1998年長野オリンピック日本代表の三浦孝之先生を講師にお招きし、「アイスホッケーの魅力とオリンピックの意義」をテーマに開催しました。

初めに、アイスホッケーがアメリカの4大スポーツのひとつとして人気を集め、冬季オリンピックでは最終日に決勝戦が行われる花形競技として世界中で人気があることを説明。試合中のスピード感、激しいボディチェック（体当たり）など、映像やスライドを交えてその魅力を紹介しました。三浦先生は自身が使用していたスティックや防具などを見せながら、用具についても解説。氷上を行き交うパックは「大谷投手の速球と同じ160km/hものスピードです」と説明すると、驚きの声が上がりました。

塾生たちは、時代を追って木製からカーボンに材質を変えたスティックや、毎試合つけている防具に実際に触れながら、重量感や頑丈さなどを肌で感じました。

後半は、オリンピックの歴史や理念、シンボルマークの意味などについてクイズを交えながら学習。2020年の東京オリンピックに向けた日本の取り組みなども紹介しました。



# 開塾42周年記念式典

5月13日（日）に、松前柔道塾開塾42周年記念式典を盛大に開催しました。多くの御来賓及び関係者が出席した他、友好クラブの東京国際フランス学園、東海ジュニアスポーツクラブ、直心館中西道場が来塾しました。

模範演武では、東海大学柔道部に所属する本塾の出身者が迫力ある得意技を披露しました。現在、東海大学柔道部には男子9名・女子2名、計11名の本塾出身者が在籍しています。

親善対抗試合では、お互いのチームが日頃の稽古の成果を発揮しました。式典終了後の懇親会では、関係者が親睦を深め、塾生は友好道場の生徒たちと交流しました。



望星学塾塾長挨拶



元氣よく柔道歌斉唱



松前柔道塾塾監挨拶



塾生による受身のパフォーマンス



模範演武

(本塾出身の東海大学柔道部員)



親善試合

## 第38回全国少年柔道大会出場

5月5日（土/祝）講道館で第38回全国少年柔道大会が開催されました。本塾は東京都第2代表として7年連続12回目の出場。3チームで争う予選リーグで1勝1敗と接戦を繰り広げましたが、得失点差の2位で、決勝トーナメント進出を逃しました。選手は持てる力を出し切り、よく頑張りました。当日は、多くの塾生・保護者・OBOG・関係者の皆様に応援頂きありがとうございました。

### 【選手紹介】

先鋒 森野 千春（小学5年生）

次鋒 安藤 雅姫（小学5年生）

中堅 宇野 愛輝（小学6年生）

副将 中野 拓海（小学6年生）

大将 堀内 大幹（小学6年生）

補欠 矢野 磐根（小学6年生）

補欠 佐藤 壮泰（小学5年生）

